



集中ケア認定看護師

認定看護師とは日本看護協会が「特定の看護分野で熟練した看護技術と知識を持つ」と認めた看護師をいいます。全部で21分野が設定されている認定看護師ですが、この「集中ケア」のジャンルに関しては意外にその内容が知られていないという面もあります。

集中ケア認定看護師の仕事とその役割とはどのようなものなのでしょうか？

集中ケア認定看護師（Certified Nurse in Intensive Care）はその名称が表わすとおり、主としてICU（集中治療室）や心臓血管系の疾患を抱える重篤患者を対象としたCCU（冠状動脈疾患集中治療室）に勤務し、重症患者さまの看護とその家族のケアを行なう看護師を指します。

この集中ケアの分野は2007年まで「重症集中ケア認定看護師」という名称が使われていたことでも分かるように、重症かつ集中的な治療が必要な患者さまで、生命の危機状態に陥っている患者さまに看護の提供を行ないます。

ICUやCCUが主な職場となる集中ケア認定看護師ですが、なかでも[※]クリティカルケア領域に関する最新かつ広範囲な知識と高い看護技術が求められるのは言うまでもありません。

また、集中ケアに必要な医学的な知識に加えて、フィジカルアセスメント能力が不可欠であることも事実です。

「フィジカルアセスメント」は、患者さまの身体所見から、総合判断し、看護ケアを提供していきます。フィジカルアセスメントを駆使して生命の危機状態にある患者さまの病態変化を予測し、重篤化を回避するための援助を行います。

また、高度医療や救命医療の発展により、集中治療領域では重症かつ集中治療を必要とする患者さまとご家族への支援も求められます。専門的知識・技術を用いて看護を实践と、ご家族の精神的サポートもしていくことも役割の一つです。

重症かつ集中治療を必要とする患者さまは、とりわけ心身ともに手厚い看護も必要になり、よいケアをすると回復が早く、普通の生活に戻れる可能性が高まることに気がきました。退院前にICUを訪ねて下さる患者さまの笑顔を大切に、これからも看護を提供していきます。

※クリティカルケアとは、重篤な疾患や外傷、身体的侵襲の大きい手術などによって重要生体機能（呼吸・循環など）に重大な障害がもたらされ、生命の危機に陥っている患者さまに対し、集中的な観察とケアを施す看護のことです。



集中ケア認定看護師
今村 恵